

学校・地域の実態
1. 保護者は、学校の教育活動に協力的であり、各種学校行事への参加も多い。 2. 町教育委員会社会教育主導によるコミュニティスクールが定着しており、機能している。 3. 職員の年齢構成は、バランスよく配置されている。協働的に教育活動を進めることができる。 4. 教職員は、チームとしての協働体制が高まってきていると感じている。

学校教育目標
よく考える子 思いやりのある子 やりぬく子 生命を大切にする子
重点教育目標～目指す子どもの姿～
<b>自立・創造・協働する子</b> 自分で考え、学び、よりよく生きようとする子 自分や他者の幸せのために行動・協働できる子 他者とよりよい関係を築きながら、共に幸せを追求できる子

児童の実態
1. 明るく人懐っこい子が多い。 2. 朝・帰りのあいさつが習慣づいている 3. 国語「書く」、算数「図形」の領域の定着が必要である。 4. 体力は、持久力に課題がみられる。登下校は、徒歩の児童が多い。 5. 規範意識は高い。一方で自尊心の高まりが必要である。

さらに前へ～本校の強みを伸ばす～
「知・徳・体のバランスがとれた教育活動をしている。」…保 100% 「学校は楽しい」…児 91%, 保 100% 「学校だより、学級通信その他各種お便りの回数や内容」…保 100% 「児童が健やかに育つ環境にある」…保 100% 「先生はよく話を聞いてくれる」…児 96%, 保 94% 「いじめ等すぐに解決」…児 98%, 保 94%

ここから前へ～本校の課題を解決する～
「既習事項が理解されている」…児 91%, 保 79% (評価の乖離) 「学年+10分家庭学習をする」…児 40%, 保 49% 「人の話をきちんと聞くことができる」…児 88%, 保 73% (評価の乖離) 「自分から進んで発表する」…児 62% 「ノーゲームデーの家庭での取組」…児 53%, 保 42% 「テレビ・動画の視聴時間が1日2時間以上」…児 30% 「ゲームで遊んでいる時間が1日2時間以上」…児 18%

育成を目指す資質・能力			
何を知っているか、何ができるだけではなく、できることをどう使うか、どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか。			
	ねばり強く学習する子(知)	ともだちを大切にする子(徳)	進んで運動する子(体) 調和の取れた体を意識する子
知識・技能	①読み・書き・計算が定着している。 ②学習規律が身についている。	⑦心地よい集団生活を送るための基本的な生活習慣が身についている。(あいさつ、返事、歩行、片付け)	⑩基本的な運動技能、集団行動を身に付け、運動を楽しんでいる。 ⑪規則正しい生活習慣・食習慣を身に付け、運動する習慣が身についている。
思考力・判断力・表現力	③主体的に考え、根拠をもとに筋道立てて説明できる。 ④他者と関わりながら新たな考えを創り出し、伝えることができる。	⑧温かく支え合う雰囲気醸成し、友達と協力して課題を解決しようとする。	⑫種目や運動の種類に応じて、よりよい動きを作り出すために工夫しようとする。
学びに向かう力・人間性	⑤ねばり強く学習に取り組む。 ⑥学びを振り返り、学んだことを新たな課題解決や生活場面で生かす。	⑨お互いの個性を尊重し、思いやりをもって他者と関わり、自己有用感を高める。	⑬健康で安全な生活を目指し、体力向上や苦手な動き、新しい運動に意欲的に挑戦する。

目指す学校像
1. 明るいあいさつが心地よく響く学校 2. できる喜び、わかる楽しさを実感し子供の笑顔があふれる学校 3. 家庭・地域から信頼され、「つながり」と「広がり」で子供を守り育てる学校 4. 教職員が目標を共有し、目標達成のために助け合い、高め合う学校

学校経営の基本方針
<b>つながり合い、認め合い、豊かな人生を切り拓く力を育てる</b> 1. 児童・家庭・地域の実態や願いを受け、「これからの時代に求められる資質・能力」の育成に向け、知・徳・体の調和の取れた教育課程を編成し、充実した教育活動を推進する。 2. 教職員一人一人が主体的に業務を推進するとともに、チームとして機能する協働的な学校体制を確立し、学校改善、授業改善を推進する。 3. ユニバーサルデザインを意識した環境整備、授業の構築、教材作成など、特別支援教育を大切に視点をICTを活用した授業の充実を図る。 4. 「働き方改革」や「業務改善」を実行し、教職員がやりがいをもって生き生きと業務ができる環境整備を推進する。

目指す教師像
1. 子供を理解する教職員 ・子どもと常に向き合い、心の声を聞き取りとする教職員 2. 授業で勝負する教師 ・子ども一人一人の学びの過程を重視した授業づくりに励む教師 ・校内研修を充実させ、力を高める教師 ・自分の専門性を発揮する教師 3. 学び続ける教職員 ・みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで喜ぶ教職員集団 ・熱意と活気があり互いに学び合う教職員集団 ・新しいことを学ぶ意欲にあふれる教職員

重点目標の具現化に向けた取組		
ねばり強く学習する子(知) (教務部・研修部)	ともだちを大切にする子(徳) (生徒指導部)	進んで運動する子(体) (保体部)
<b>1 基礎基本の定着</b> ・ドラえもん取組、習熟度別学習による基礎基本の定着① ・校内で統一した学習規律の掲示② ・学習困難児童の見取りと個別学習の充実による底上げ① <b>2 児童が主体的に考える授業プランの構築</b> ・児童の必要感に迫る学習材の提示③ ・自己の考えをアウトプット、交流を意識した学習の流れ③④ <b>3 家庭学習の定着、活用</b> ・『きずな』『家庭学習の手引き』に基づく家庭学習時間の確保①⑤ <b>4 新たな考えの創造、伝え合い</b> ・掲示による意欲向、交流活動の充実とわかる授業により筋道を立てて説明する力を育てる。④ ・プログラミング的思考をする機会や場面を学習に取り入れる。④ <b>5 振り返りの充実</b> ・単元や1単位時間のゴールの明確にした授業計画、授業を構築する。⑥ ・見える評価(ルーブリック評価)を活用した授業改善③④⑤⑥	<b>6 心地よい集団生活の確立</b> ・職員として、児童の手本となる挨拶や言葉遣いの徹底⑦ ・児童会による「あいさつ運動」の継続⑦ <b>7 集団生活での協働的な課題解決</b> ・「話し合い活動」による主体性の向上⑧ ・学校の課題に協働的に改善しようとする児童会活動⑧ ・豊小こ祭りでの友達との協力体制の浸透⑧ <b>8 互いの尊重、思いやり、自己有用感の高揚</b> ・縦割り清掃でのリーダーシップ、フォローアップの育成⑨ ・係・会社活動等の学級活動、児童会活動、行事による成功体験の積み重ね⑨	<b>9 基本的な運動技能、集団行動の確立</b> ・運動時間を確保するために、整列や集合、準備、片付け等の集団行動を確立する。⑩ ・保健だよりや食育通信、掲示板を活用して、健康や食に関する関心を高める。…⑪⑬ <b>10 よりよい動きに向けた創意工夫の育成</b> ・ICT機器を積極的に活用して自分の動きを客観的に捉え、新しい運動への意欲やよりよい動きを高める。⑩⑫⑬ ・課題解決に向けて、動きの工夫や競技の作戦を伝え合う。言語活動の充実を図り、よりよい動きを作り出せるようにする。⑫ <b>11 健康・安全の意識、体力向上の意識の育成</b> ・学習の振り返りを授業に位置付け、自己の成果を認め、新たな課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を育成する。⑬ ・「新しい学校様式」の意識を定着し、児童自らが安全を意識し、行動する力を高める。⑬

重点目標の到達目標		
▷標準学力(CRT)検査において、算数の領域別の平均正答率100%達成する。国語の領域別平均正答率は「書くこと」で95%を達成する。 ▷家庭学習実施率100%を目指す。 ▷ドラえもん修了100%達成を目指す。 児童アンケートの肯定的回答率 単元テストや学力テストの正答率	▷児童アンケート「進んであいさつ」「正しい言葉遣い」の項目。 ▷道徳アンケート「相手の立場になって考えることができる、互いに協力し合うことができる」の項目 ▷児童アンケート「学級活動・児童会・行事に対する満足度」の項目 ※各アンケートで肯定的な回答80%を目指す。	・学校アンケート「朝食を毎日摂っている」「休み時間や家に帰ってから、よく体を動かして遊ぶ」の項目で肯定的回答80%を目指す。 ・体育の授業に関するアンケート「ICT機器の活用」「言語活動を通じた作戦・工夫」「苦手な動き、新しい運動に意欲的に挑戦」の項目で肯定的回答80%を目指す。